

【証券コード:6728】

決算説明会 (2007年6月期)

2007年8月20日

株式会社 アルバック

1

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

■ 今後のアルバックの成長にむけて

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2007年6月期連結業績概要

▶ 2008年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

太陽電池とスパッターゲットで世界のトップに

■ 太陽電池製造装置とスパッターゲット事業で世界トップシェアの獲得を目指す

- ▶ 事業規模やマーケットサイズが大きく、急成長を開始
- ▶ 半導体、FPDの次に牽引する柱

◆ 太陽電池

- ▶ 25年前から薄膜太陽電池製造装置の事業を実施
- ▶ ターンキー一貫装置を立ち上げグローバルに事業を展開

◆ ターゲット事業

- ▶ アルバックマテリアルで長年にわたって努力
- ▶ FPD大型化、高精細化で高純度AIや高融点金属が急拡大

競争に勝って世界トップとなれば、アルバックは大きく成長が可能。新しいアルバックに脱皮。

独自技術で世界トップに

■ 新技術の市場投入

▶ FPD関連

大型基板用スパッタ装置、プラズマCVD装置、
有機EL製造装置、インクジェットプリンティング

▶ 半導体関連

不揮発メモリ用製造装置、Cu配線関連、
パワーIC製造装置

▶ その他

ハイブリッド・カー関連部品製造装置

■ 独自技術にこだわり、他人のまねをせず、他人の
やっていないことをやる

■ それぞれの分野で圧倒的な世界トップを目指す

■ 今後のアルバックの成長にむけて

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2007年6月期連結業績概要

▶ 2008年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

会社概要

■ 事業内容

▶ 真空関連事業

ディスプレイ及び電子部品製造装置：FPD（液晶、有機EL、PDP等）、太陽電池、電子部品
 半導体製造装置：メモリー、化合物半導体等の半導体製造装置
 コンポーネント：真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器
 その他：超高真空装置や真空熱処理炉など一般産業機器

▶ その他の事業

先端材料、表面解析装置、装置制御

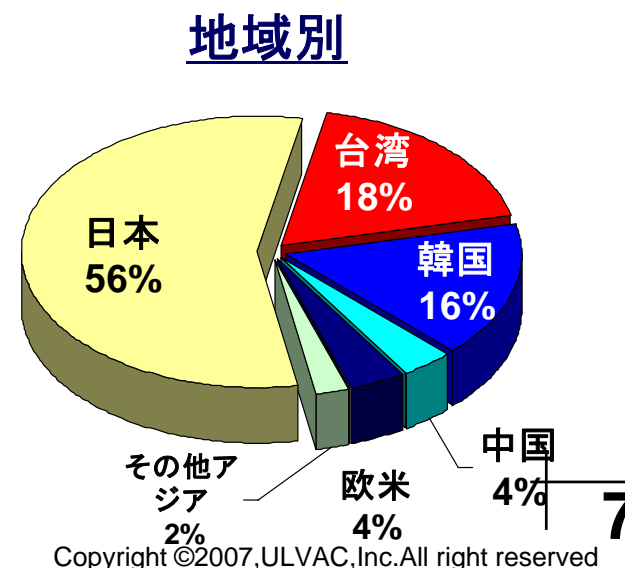
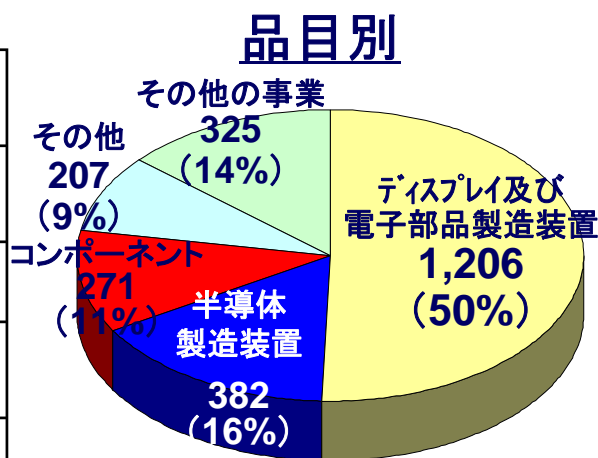
：スパッタターゲット材、ナノテク関連分析装置、制御システムなど

■ 07/6期実績(連結)

【単位：億円】

売上高	2,392
経常利益	161
当期純利益	73
純資産合計	944
従業員	5,543名

■ 売上高構成比(連結)



07/6期業績

【単位:億円】

	05/6期	06/6期	07/6期	
			実績	見通し修正 (1/25)
受注高	2,062 (+16%)	2,360 (+14%)	2,368 (+0%)	2,400
売上高	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)	2,392 (+13%)	2,510
営業利益	153 (+81%)	148 (-3%)	166 (+12%)	209
経常利益	124 (+71%)	148 (+19%)	161 (+9%)	200
当期純利益	71 (+81%)	81 (+13%)	73 (-10%)	101

【（ ）内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別売上高の実績

【単位:億円】

品目	06/6期	07/6期				見通し修正後の 主な変動要因
		見通し修正 (1/25)	実績			
			売上高	増減率		
真空 関連 事業	ディスプレイ及び 電子部品製造装置	1,100	1,284	1,206	-6%	液晶などFPD関連の売 上の期ずれによる
	半導体製造装置	279	367	382	4%	DRAM,フラッシュなど積 極投資で堅調
	コンポーネント	276	280	271	-3%	FPD関連投資延期でポ ンプ売上減による
	その他	156	226	207	-8%	産業機器関連真空装置 の売上減による
その他の事業	313	352	325	-8%	制御システム関連の売 上減による	
合計	2,125	2,510	2,392	-5%		

【増減率は、1/25見通し修正値比】

注)

記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

バランスシート(資産の部)

	06/6	07/6	増減
流動資産	1,787	2,079	291
現金及び預金	110	119	9
受取手形及び売掛金	834	874	40
たな卸資産	747	966	218
繰延税金資産	42	47	6
その他	56	76	19
貸倒引当金	△ 2	△ 3	△ 0
固定資産	907	1,097	190
有形固定資産	608	818	210
建物及び構築物	248	383	135
機械装置及び運搬具	193	211	18
工具器具及び備品	26	32	6
土地	91	89	△ 2
建設仮勘定	50	103	54
無形固定資産	55	38	△ 17
投資その他の資産	243	241	△ 3
投資有価証券	149	156	6
差入保証金	13	14	1
繰延税金資産	37	43	7
その他	45	31	△ 14
貸倒引当金	△ 1	△ 3	△ 2
資産合計	2,694	3,176	482

【単位:億円】

売上の増加による

一部売上案件が翌期にずれたことによる

当社茅ヶ崎本社工場のリニューアル・愛知工場新設、アルバックマテリアル富里事業所新設、アルバックテクノケミカルセンター新設他

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

バランスシート(負債・純資産の部)

【単位:億円】

	06/6	07/6	増減
流動負債	1,465	1,695	230
支払手形及び買掛金	684	721	37
短期借入金	249	337	88
コマーシャル・ペーパー	100	100	-
未払法人税等	50	39	△ 11
前受金	208	250	42
繰延税金負債	0	0	0
賞与引当金	15	16	2
役員賞与引当金	3	5	2
製品保証引当金	28	29	1
その他	128	197	69
固定負債	353	537	184
社債	2	2	-
新株予約権付社債	-	155	155
長期借入金	231	249	18
退職給付引当金	103	114	11
役員退職慰労引当金	11	7	△ 4
繰延税金負債	-	0	0
その他	6	10	4
負債合計	1,818	2,232	414
資本金	135	135	-
資本剰余金	147	147	-
利益剰余金	519	580	60
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
その他有価証券評価差額金	15	15	△ 1
為替換算調整勘定	11	27	16
少数株主持分	49	40	△ 8
純資産合計	876	944	67
負債及び純資産合計	2,694	3,176	482

たな卸資産増加による

運転資金の増加に伴う調達

韓国における受注による

当社茅ヶ崎本社工場のリニューアル、アルバックマテリアル富里事業所新設に係る設備未払金など

当社茅ヶ崎本社工場リニューアル、アルバックマテリアル富里事業所他に充当

設備資金増加による

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

主な新設工場、新拠点および子会社化

韓国

■部品洗浄工場



(2007年5月竣工)
(坡州市)

■玄谷工場増設



(2006年11月竣工)
(平澤市)

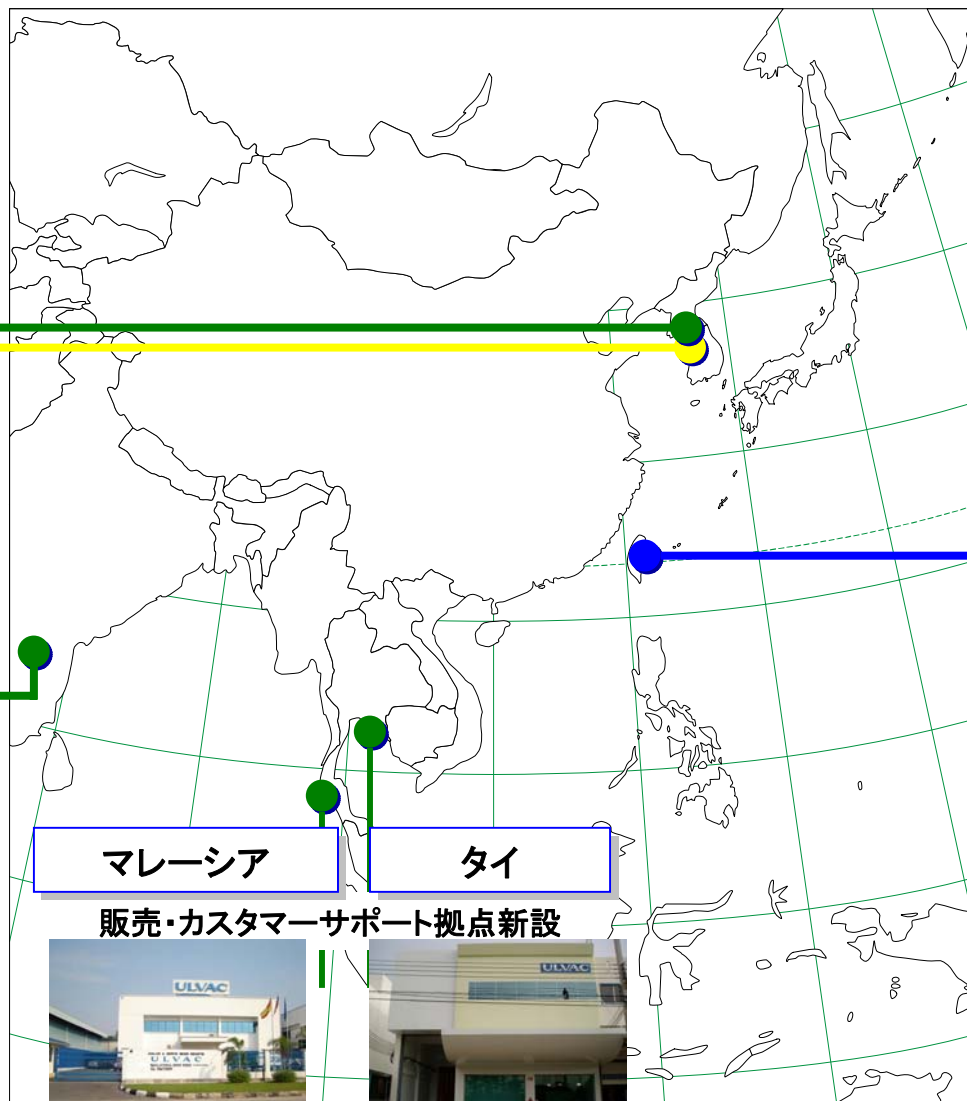
インド

■インド支店設立



(2007年6月)
(セクンデラバード市)

- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設



マレーシア

販売・カスタマーサポート拠点新設



(2006年8月)
(クアラルンプール)

タイ



(2007年6月)
(バンコク)

台湾

■制御盤製造工場新設



(2006年11月竣工)
(台北)

■FPD製造装置工場新設



■部品洗浄、部品加工工場新設



(2007年2月竣工)
(台南)

主な新設、増設工場(国内)

■部品表面処理センター新設



(2006年9月竣工)
(茅ヶ崎市)

■ODFなどFPD製造装置工場新設



(2006年11月竣工)
(愛知県春日井市)

■小型真空ポンプ製造工場増設



(2006年9月竣工)
(宮崎県西都市)

■スパッタターゲット工場新設

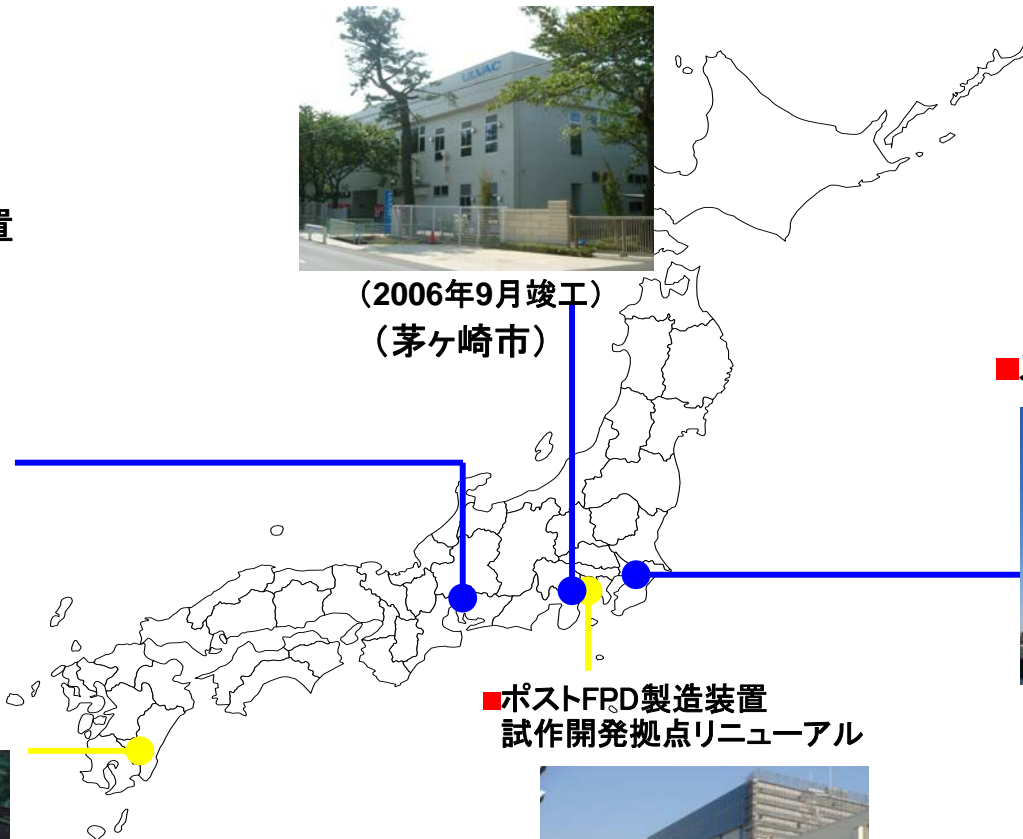


(2007年1月竣工)
(千葉県富里市)

■ポストFPD製造装置
試作開発拠点リニューアル



第1期(2007年2月竣工)
(茅ヶ崎本社工場)



- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

07/6期のまとめ

■ 受 注

- ▶ 一部FPDの投資計画延期で第3四半期に大きく落ち込み
- ▶ 太陽電池一貫ラインを初受注(台湾NexPower社)
→エポックメイキングな受注で、新たなビジネス展開スタート

■ 売 上

- ▶ 第4四半期に大きく偏り、今期へ期ずれが生じた。

■ 業 績

- ▶ 受注高、売上高、経常利益全てで予想を下回ったが、売上高、経常利益は4期連続で過去最高を確保。

■ もの作りの基本が問われた年度

■ 過去最大の設備投資

■ 開発面で大型開発を積極的に推進。着実に成果を上げる。

■ 今後のアルバックの成長にむけて

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

▶ 2007年6月期連結業績概要

▶ **2008年6月期連結業績予想**

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

事業環境

■ポジティブ要因

- ▶ 太陽電池分野が大きな市場としてクローズアップ
- ▶ 液晶ディスプレイ関連の設備投資再開
- ▶ 次世代ディスプレイ(有機ELなど)の大型物件の受注増が期待
- ▶ ハイブリッドカー関連、特にパワーICなどの設備投資活発化

積極的に取り組んできた分野が概ね
堅調に推移すると予想

■ネガティブ要因

- ▶ DRAMなどメモリ関連で一部の設備投資に減速
- ▶ 継続的な価格プレッシャーと材料費高騰による収益への影響

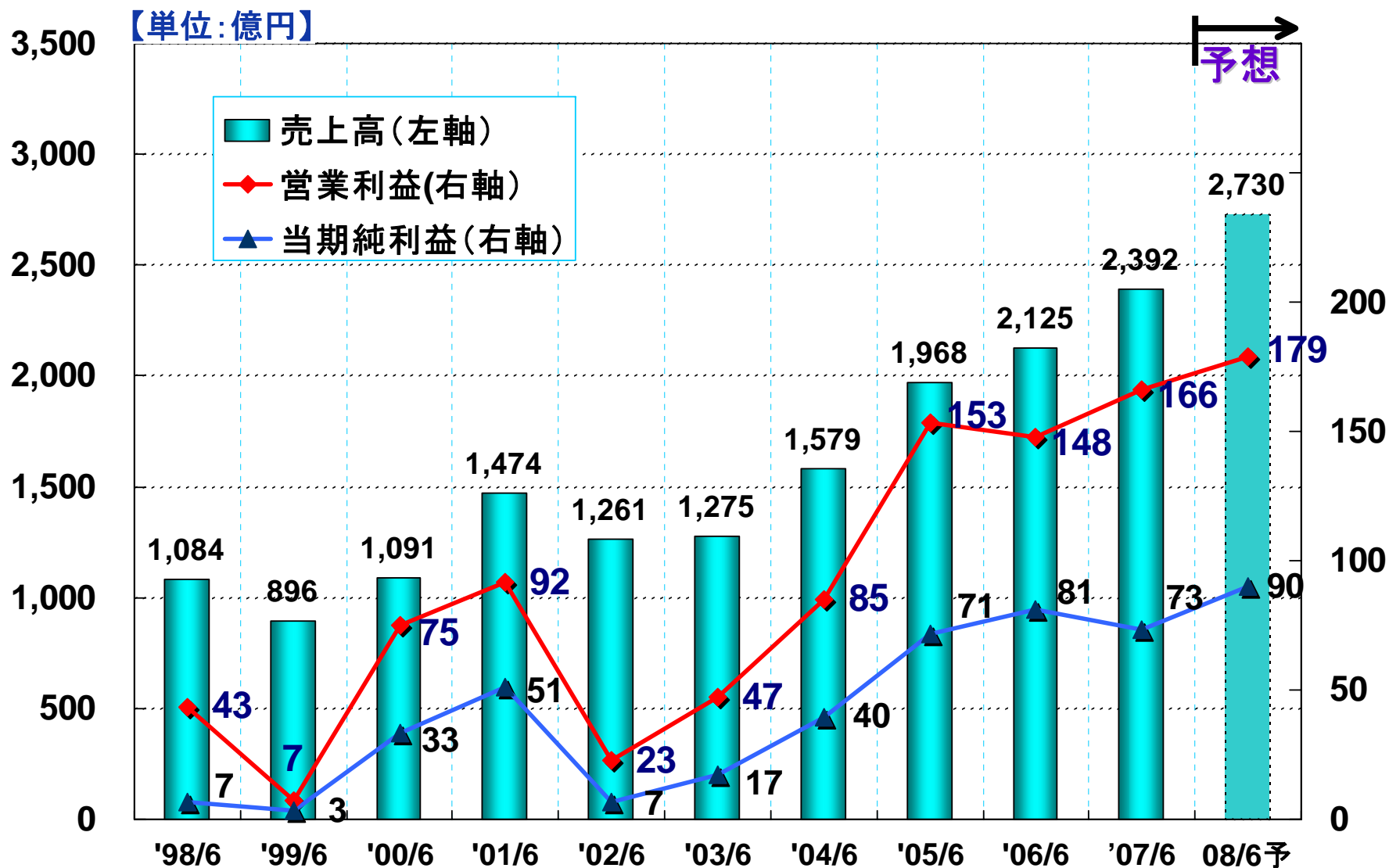
08/6期予想

【単位：億円】

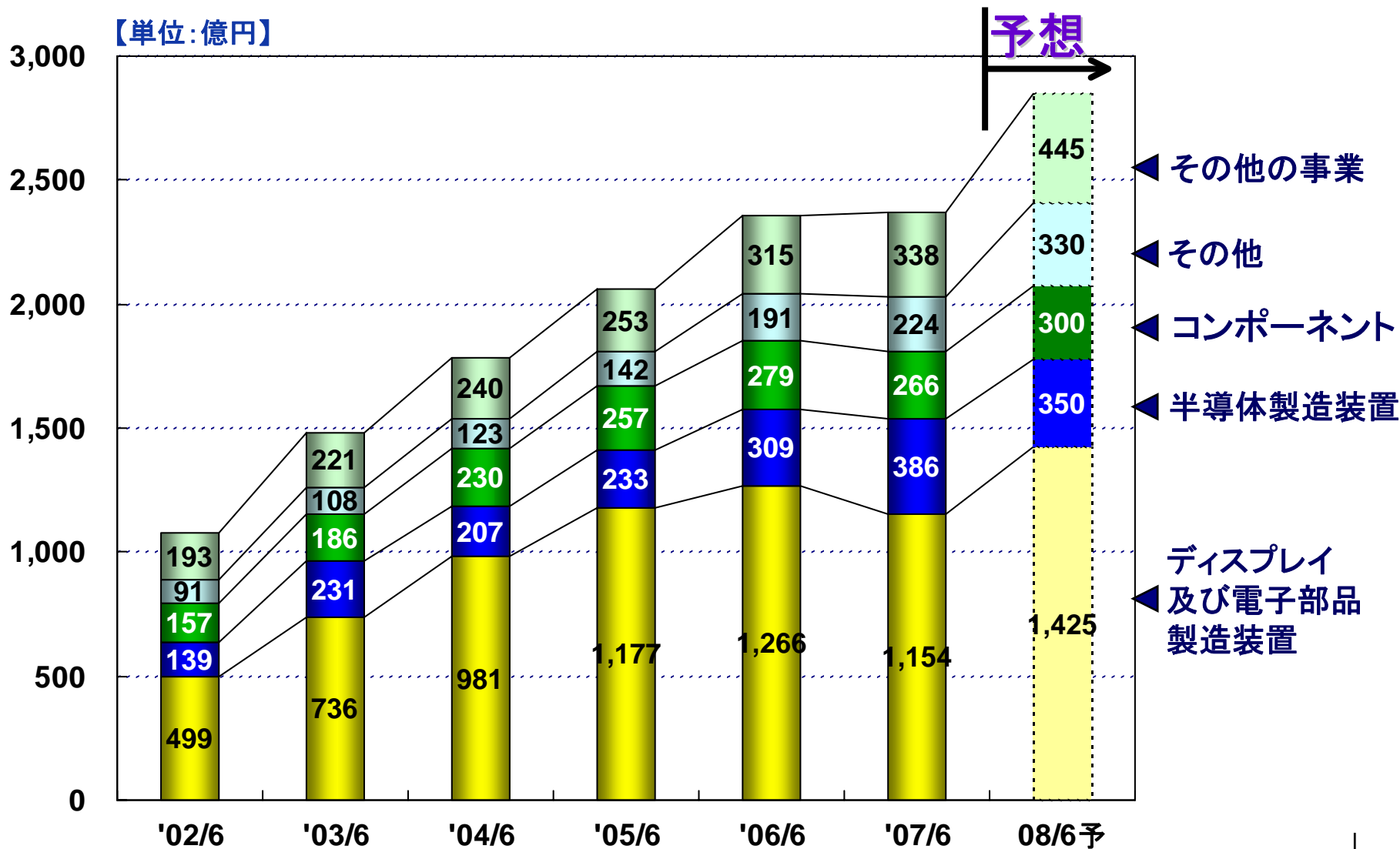
	05/6期	06/6期	07/6期	08/6期予	
				中間	通期
受注高	2,062 (+16%)	2,360 (+14%)	2,368 (+0%)	1,380 (-5%)	2,850 (+20%)
売上高	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)	2,392 (+13%)	1,320 (+9%)	2,730 (+14%)
営業利益	153 (+81%)	148 (-3%)	166 (+12%)	64 (-40%)	179 (+8%)
経常利益	124 (+71%)	148 (+19%)	161 (+9%)	55 (-51%)	166 (+3%)
当期純利益	71 (+81%)	81 (+13%)	73 (-10%)	23 (-52%)	90 (+23%)

【（ ）内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

売上高と利益の推移・予想

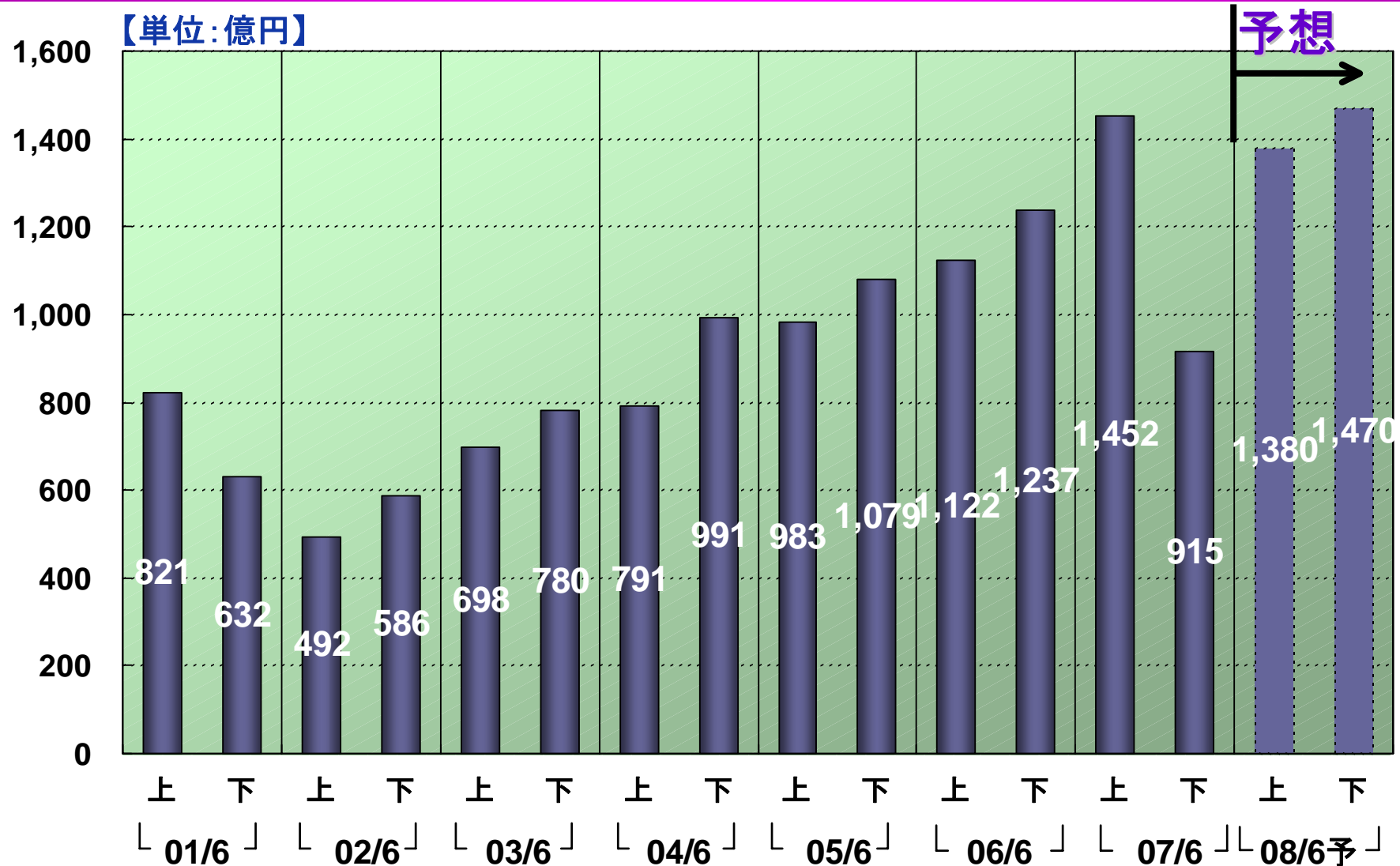


品目別受注高実績・予想



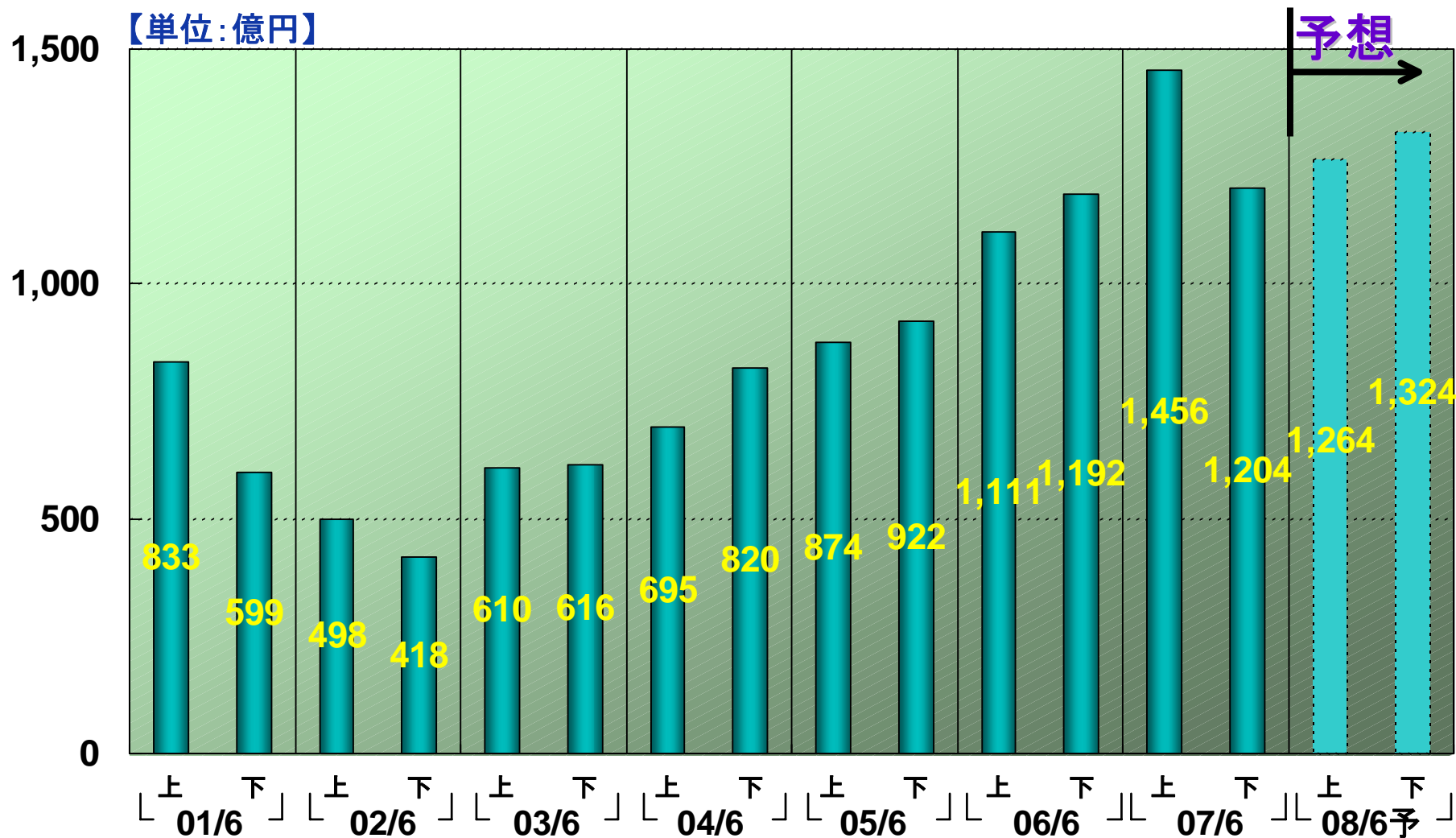
【小数点以下は四捨五入】

受注高推移・予想



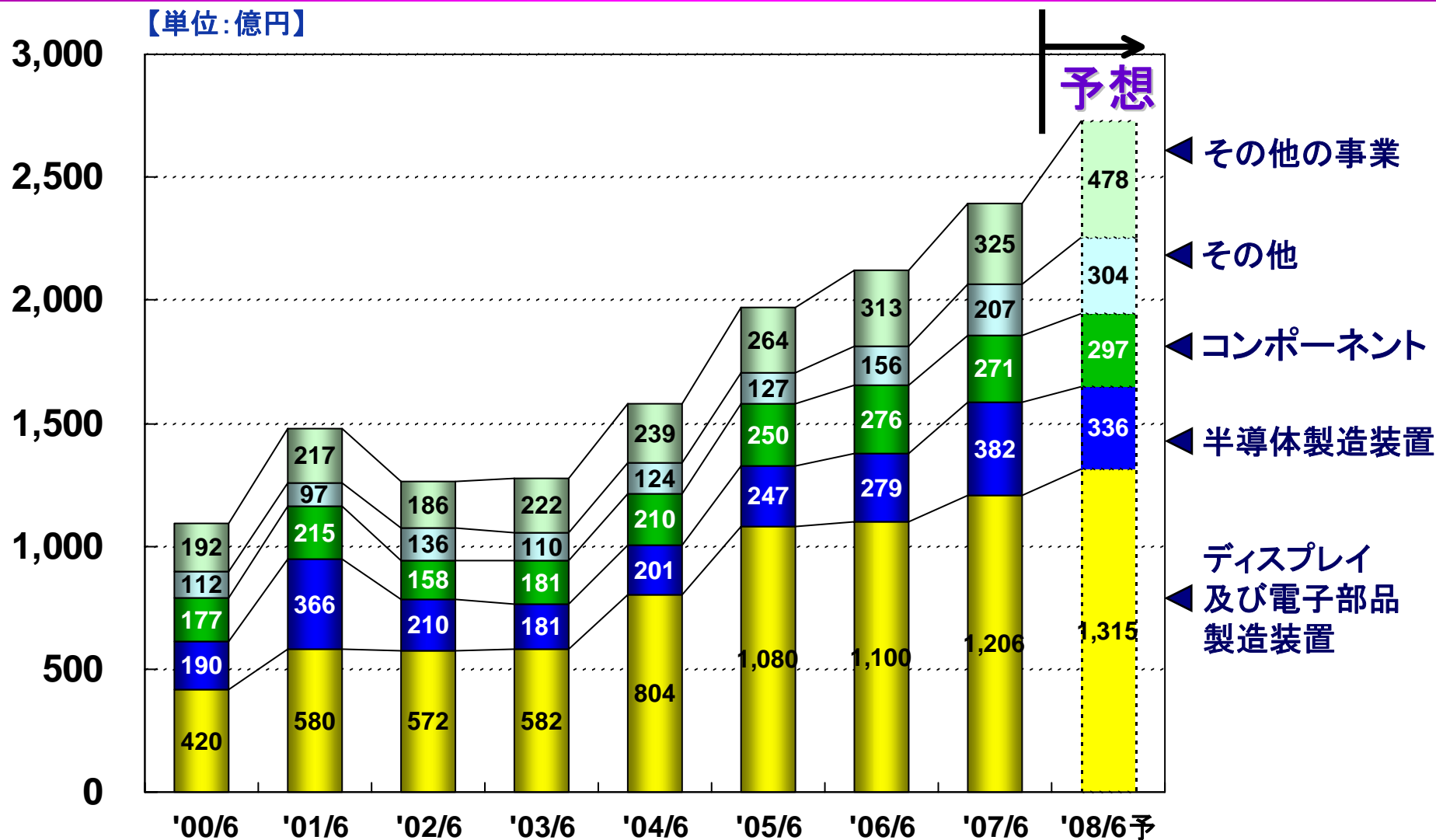
【小数点以下は四捨五入】

受注残高推移・予想



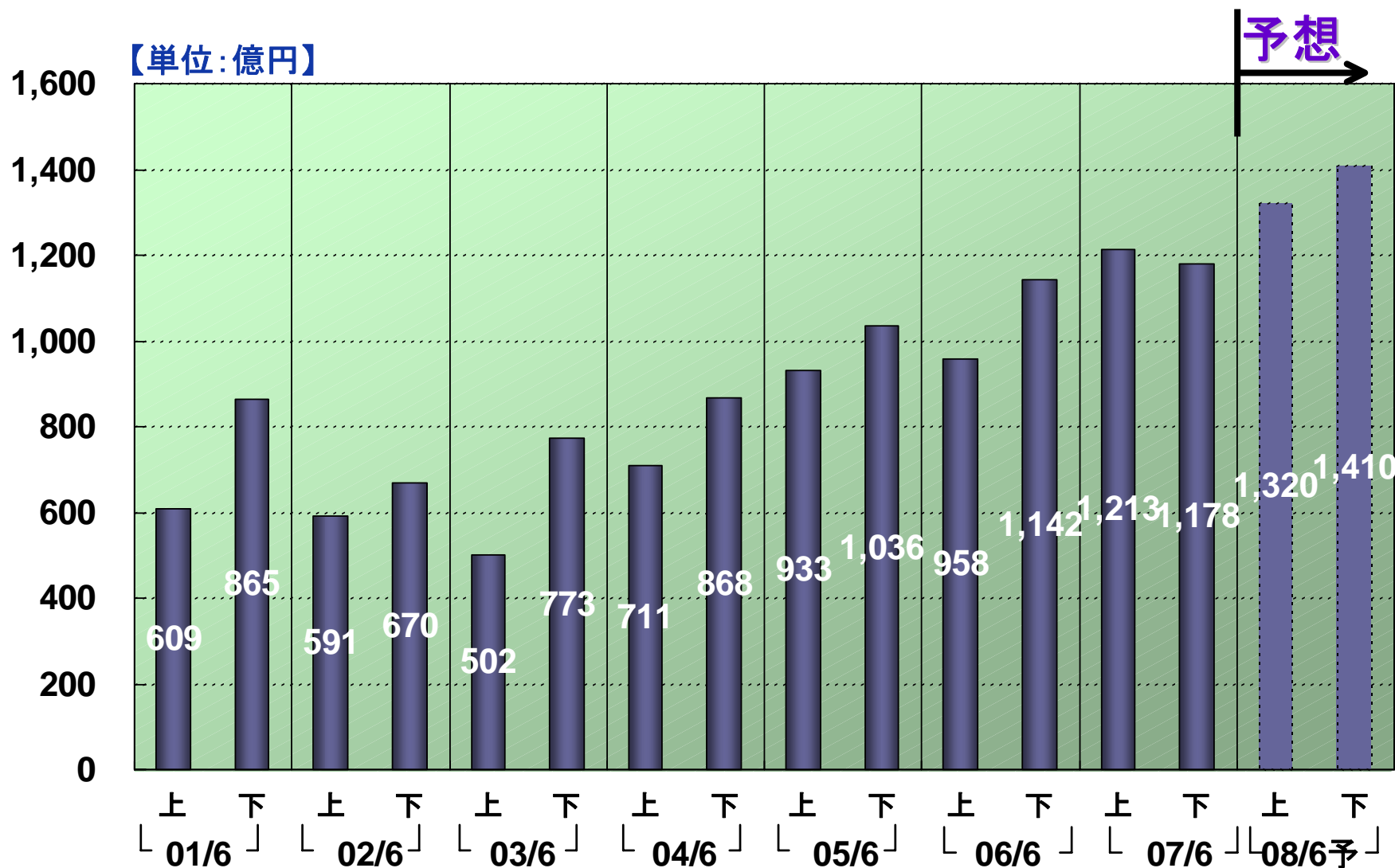
【小数点以下は四捨五入】

品目別売上高実績・予想



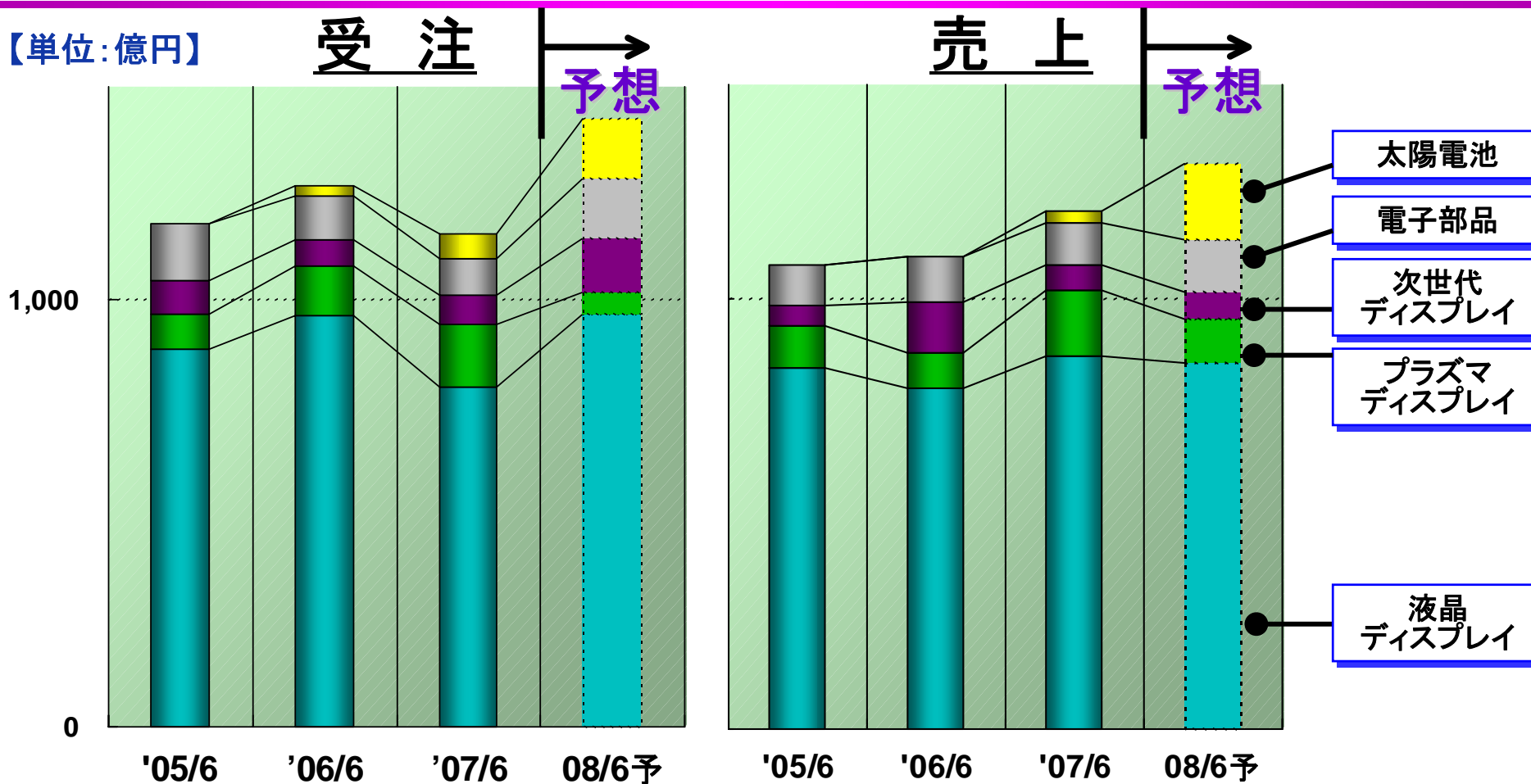
【小数点以下は四捨五入】

売上高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

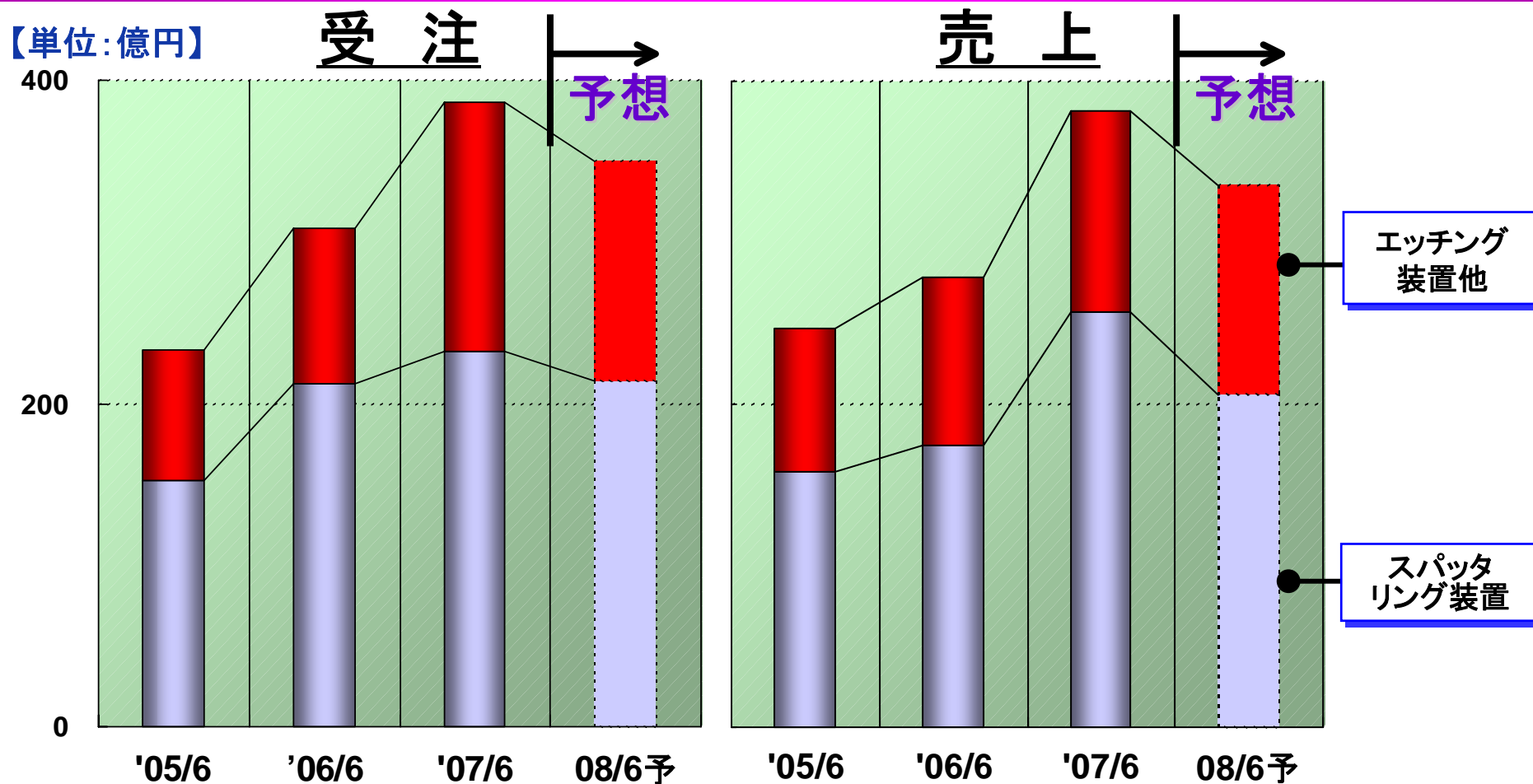
ディスプレイ及び電子部品製造装置の推移・予想



足元の受注環境

- ◆液晶ディスプレイの設備投資再開、薄膜太陽電池で受注増を見込む
- ◆有機ELなどの次世代ディスプレイの量産機の受注を見込む
- ◆電子部品は高密度実装、パワーICを中心に受注が続伸

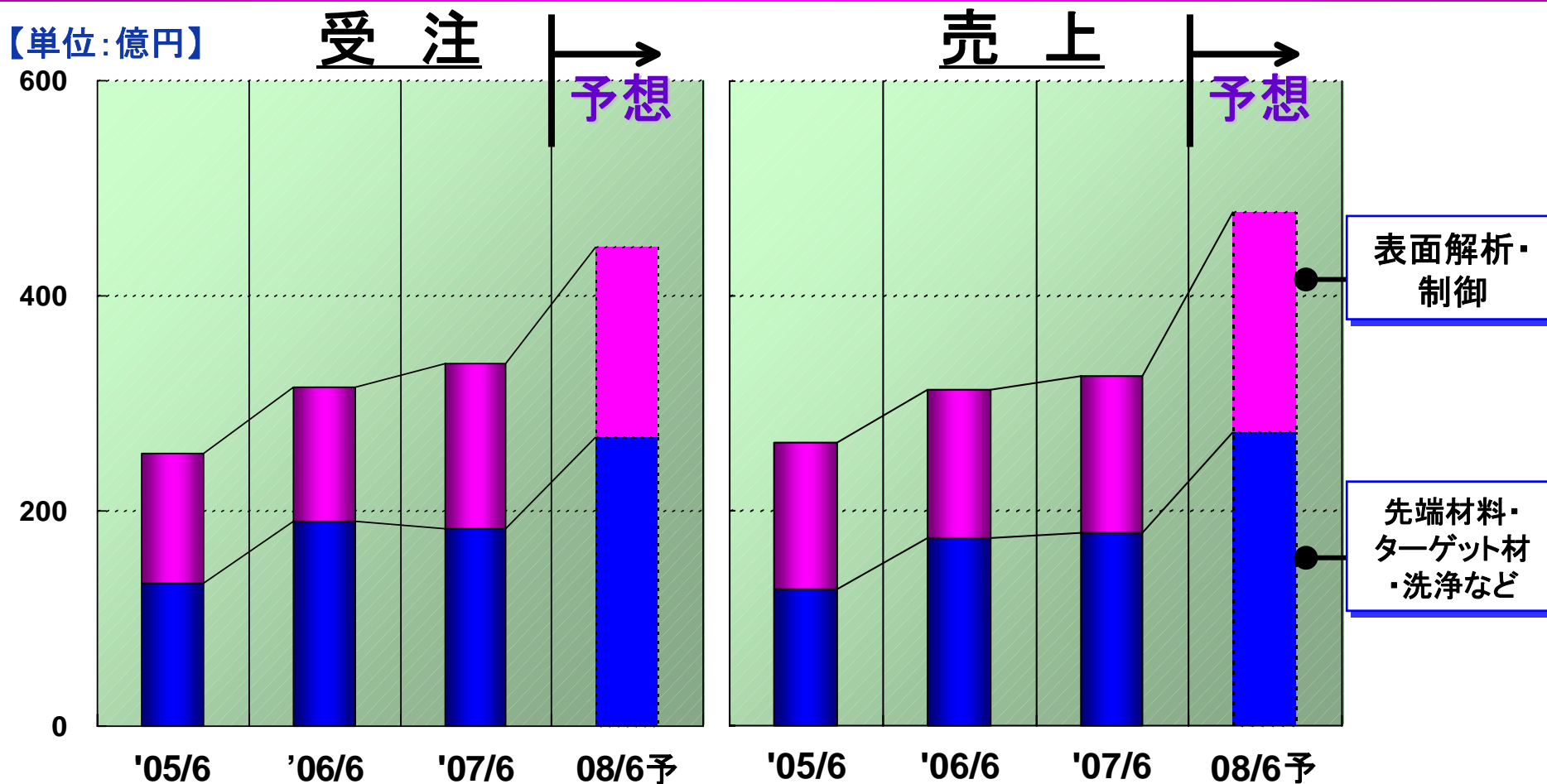
半導体製造装置の推移・予想



足元の受注環境

- ◆一部DRAMメーカーでの設備投資延期でスパッタ、自然酸化膜除去装置などの受注、売上が減少する見込み
- ◆ハイブリッドカー関連のパワーICやMEMSなどの受注が増加する見込み

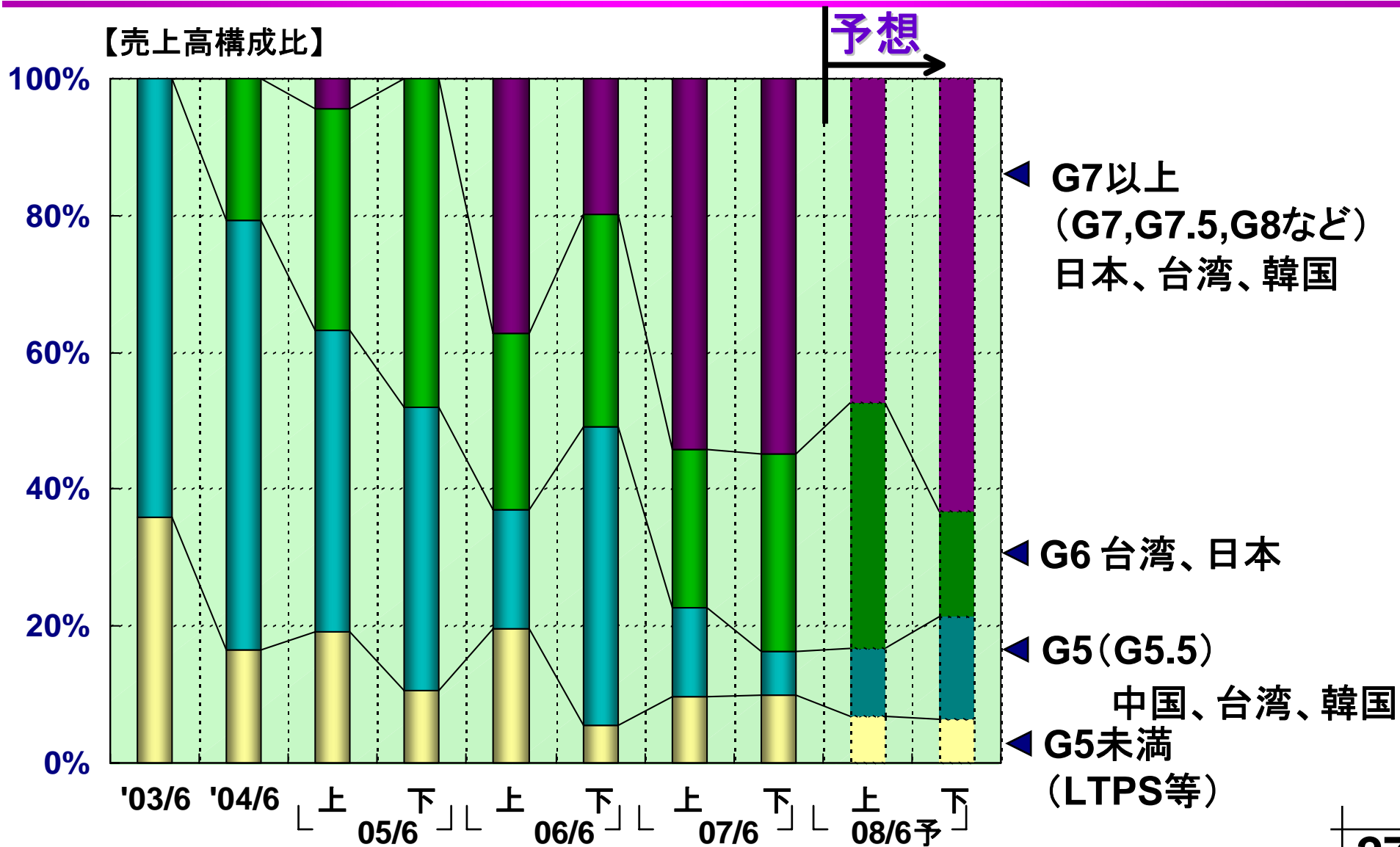
その他の事業の推移・予想



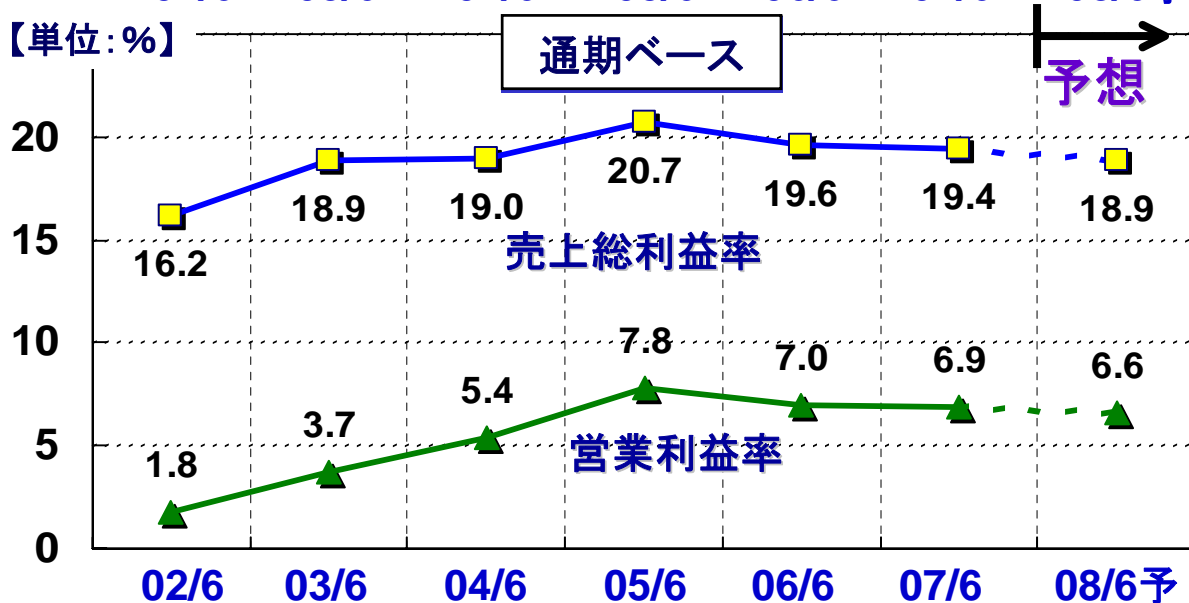
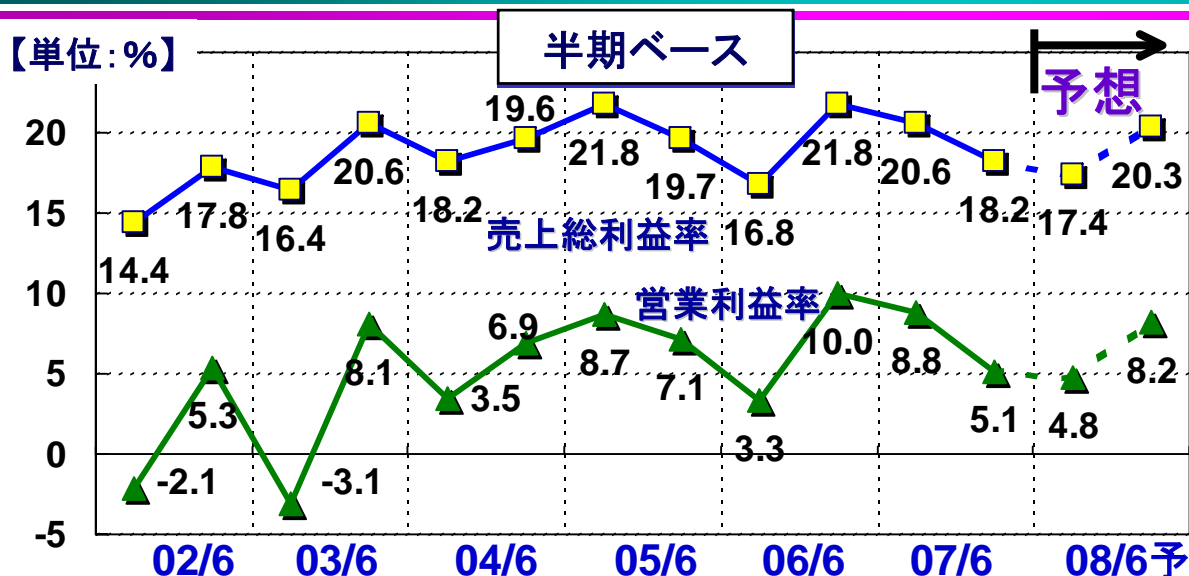
足元の受注環境

◆FPD製造装置の大型化によりターゲット材や装置部品の洗浄ビジネスの受注、売上が大幅に増加する見込み

液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移・予想



利益率の推移・予想

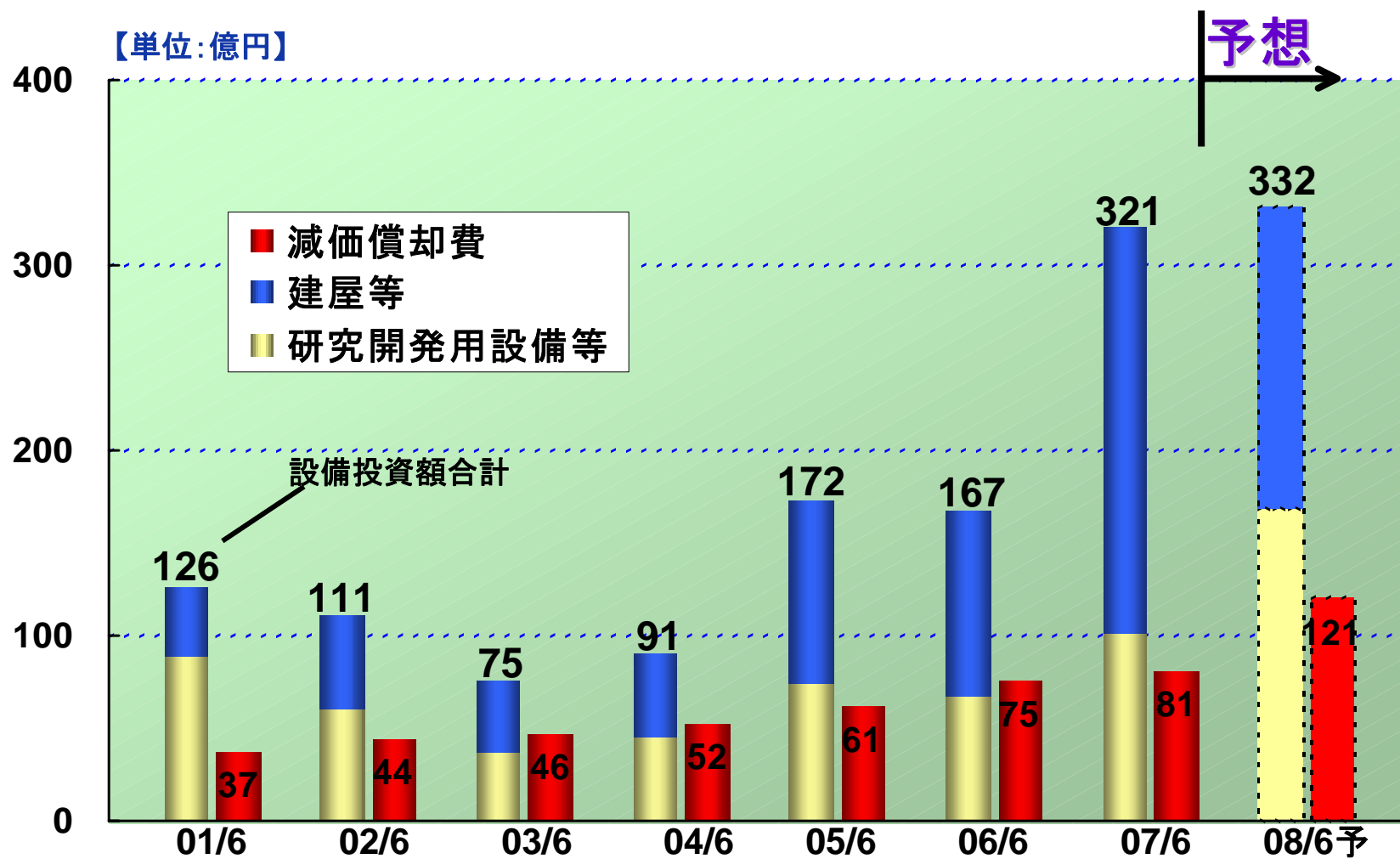


【小数点以下第2位は四捨五入】

08/6期予想

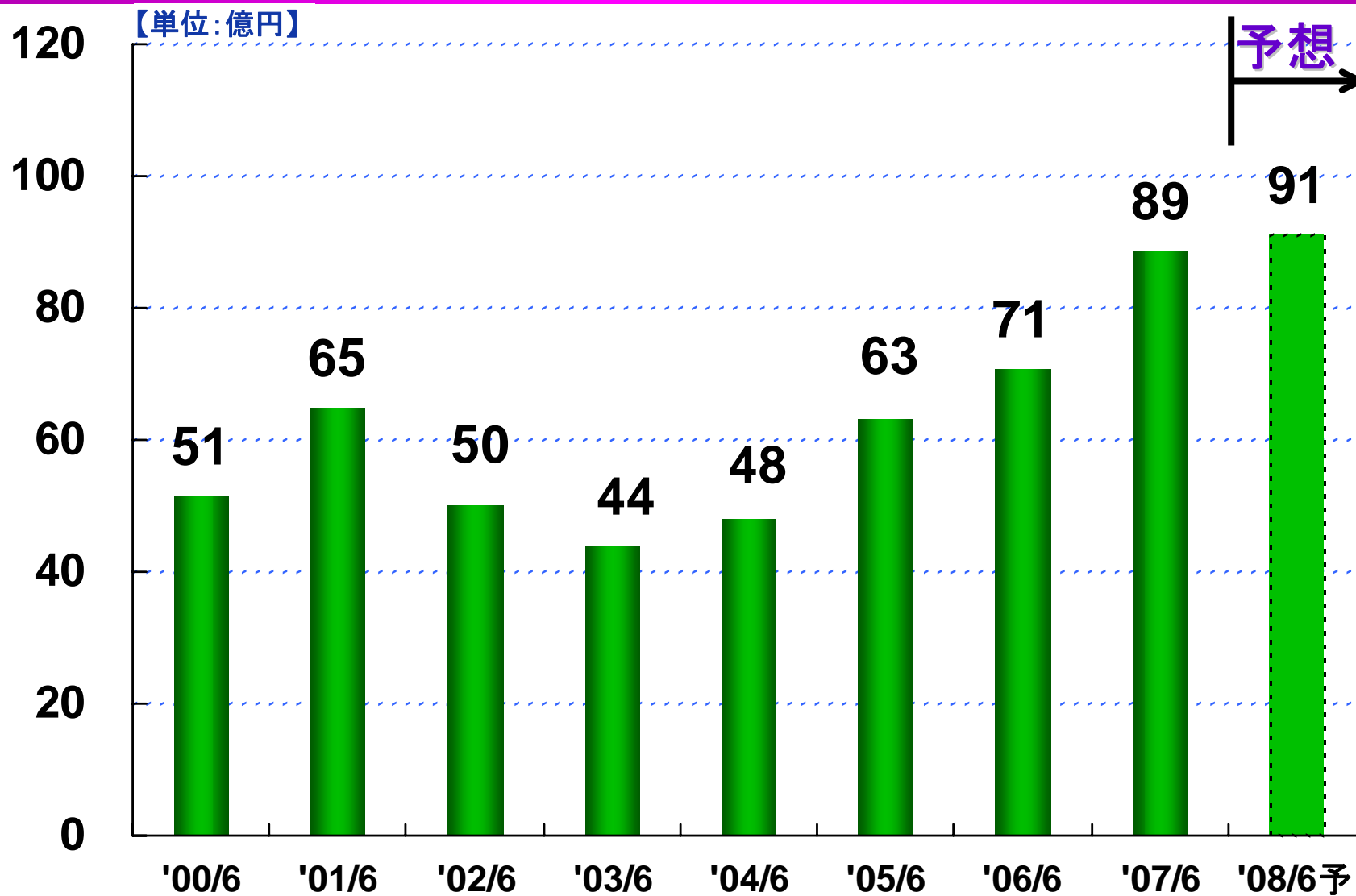
- ▶ 上期
 - ・前期受注減による売上減で利益率低下
 - ・G5などの売上げ比率減少で利益率低下
 - ・半導体製造装置、サービスで利益下支え
- ▶ 下期
 - ・縦型スパッタ装置の売上比率増加で利益増
 - ・サービス、ターゲット、一般産業機器などで利益下支え
- ▶ 通期
 - ・生産改革(内製化、標準化、先行集中調達など)の推進でコストダウン
 - ・半導体製造装置売上減による利益率低下

設備投資、減価償却費の推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

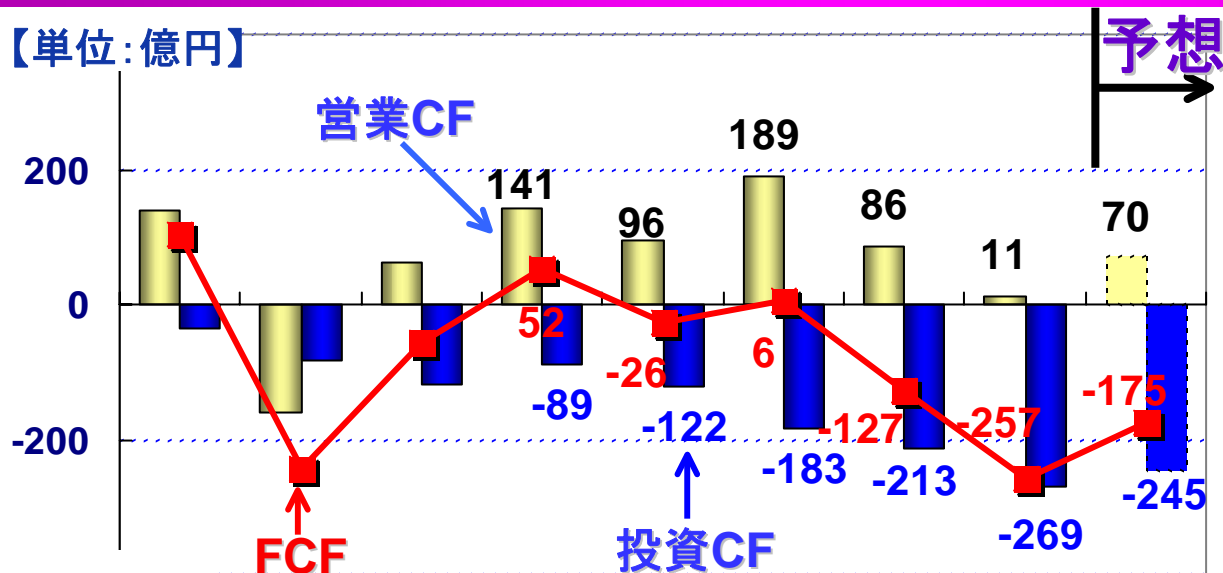
研究開発費の推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

キャッシュ・フローと有利子負債の状況・予想

【単位：億円】



営業CF: 70億円

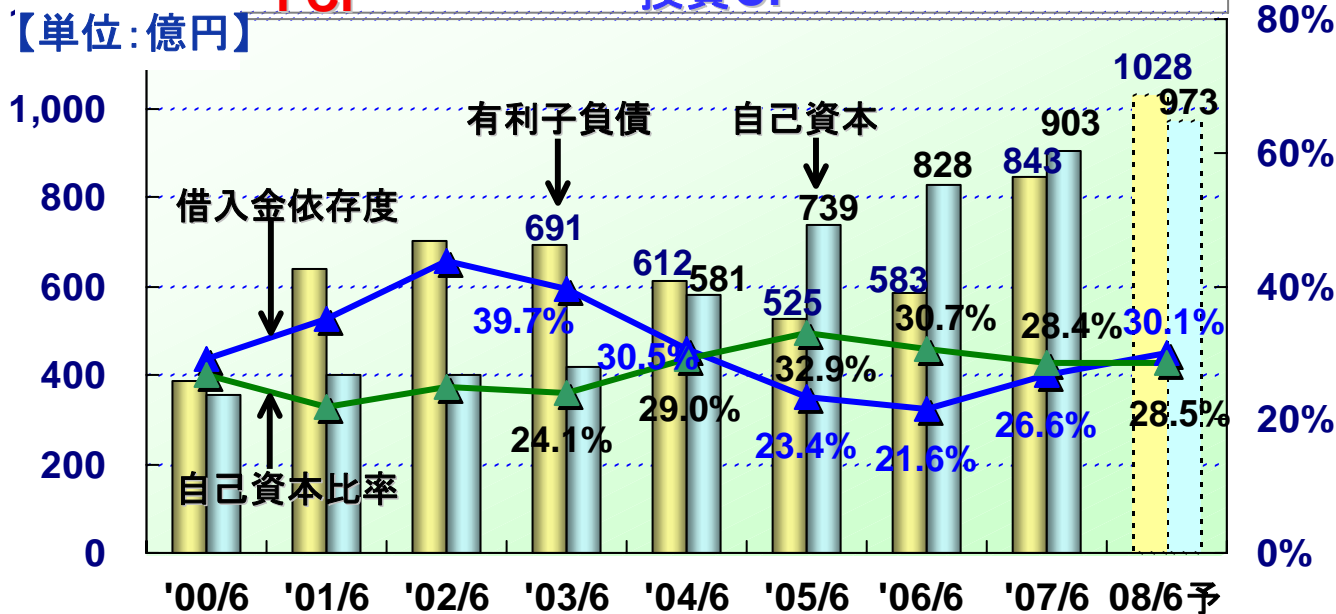
■営業CFの獲得に注力

▶収益力の向上

▶生産効率のアップ

⇒資金効率を高める

【単位：億円】



投資CF: △245億円

■成長戦略投資を実施

▶生産能力の増強

▶試作開発ラインの増設

▶研究開発設備等

今後の主な新設、増設工場および新拠点

- ターゲット材製造工場増設
- 機械加工工場増設



2007年8月竣工予定
2008年3月竣工予定
(青森県八戸市)

- ターゲット製造工場増設



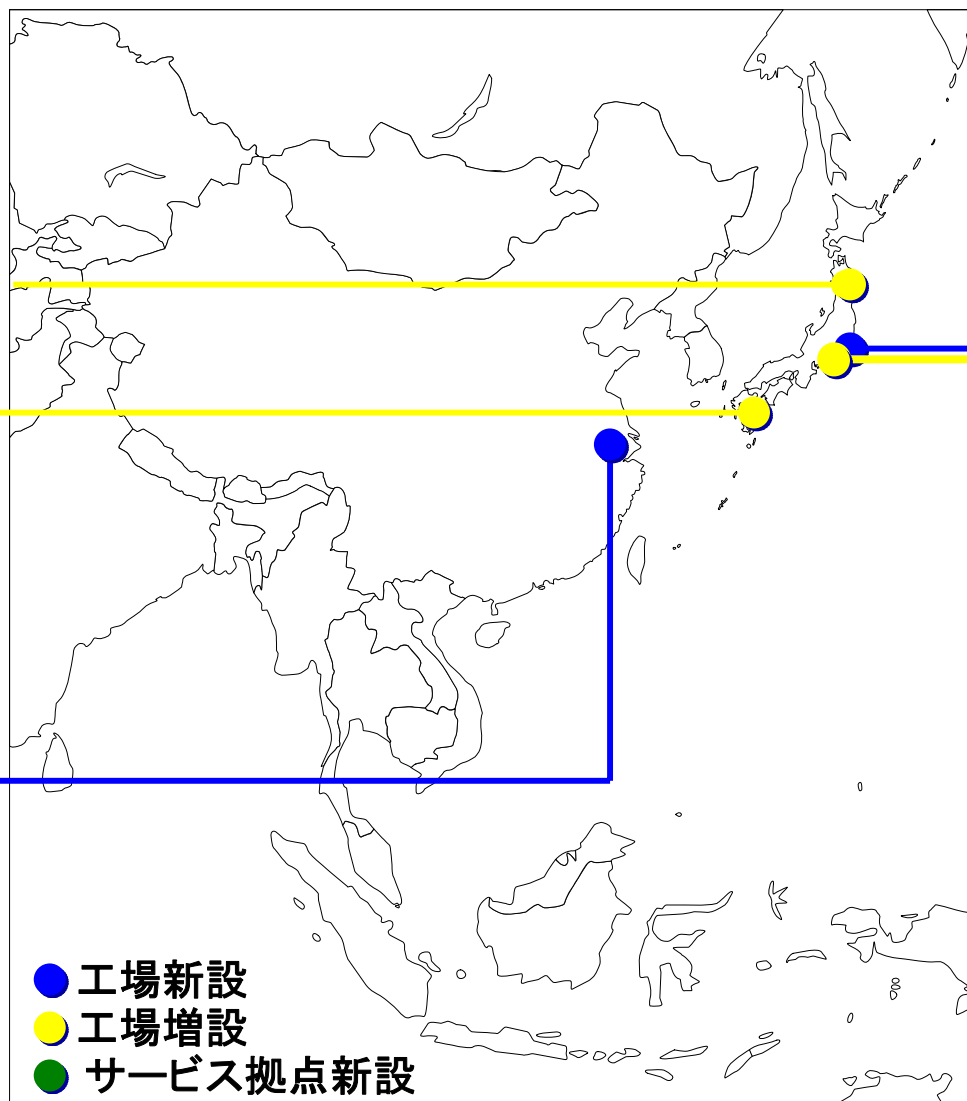
2007年11月竣工予定
(鹿児島県霧島市)

中国

- 中国統括管理会社
制御盤製造工場新設他



(2008年1月竣工予定)
(中国・上海市)



- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

日本

- 千葉超材料研究所



(2008年7月竣工予定)
(千葉県富里市)

- ポストFPD製造装置
試作拠点



(第2期2008年7月
竣工予定)

■ 今後のアルバックの成長にむけて

代表取締役会長 中村久三

■ 業績概要及び予想

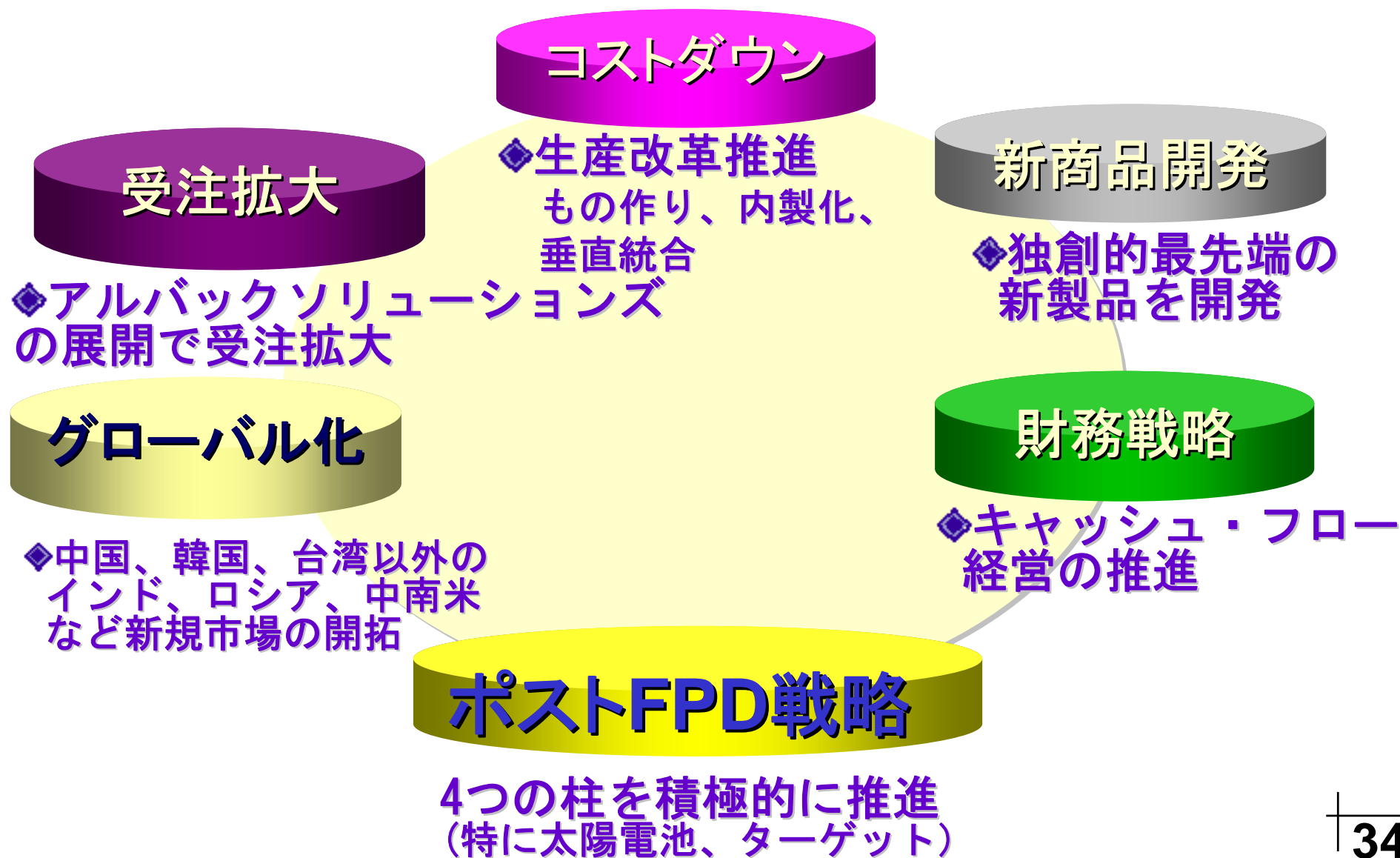
▶ 2007年6月期連結業績概要

▶ 2008年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

代表取締役社長 諏訪秀則

事業戦略



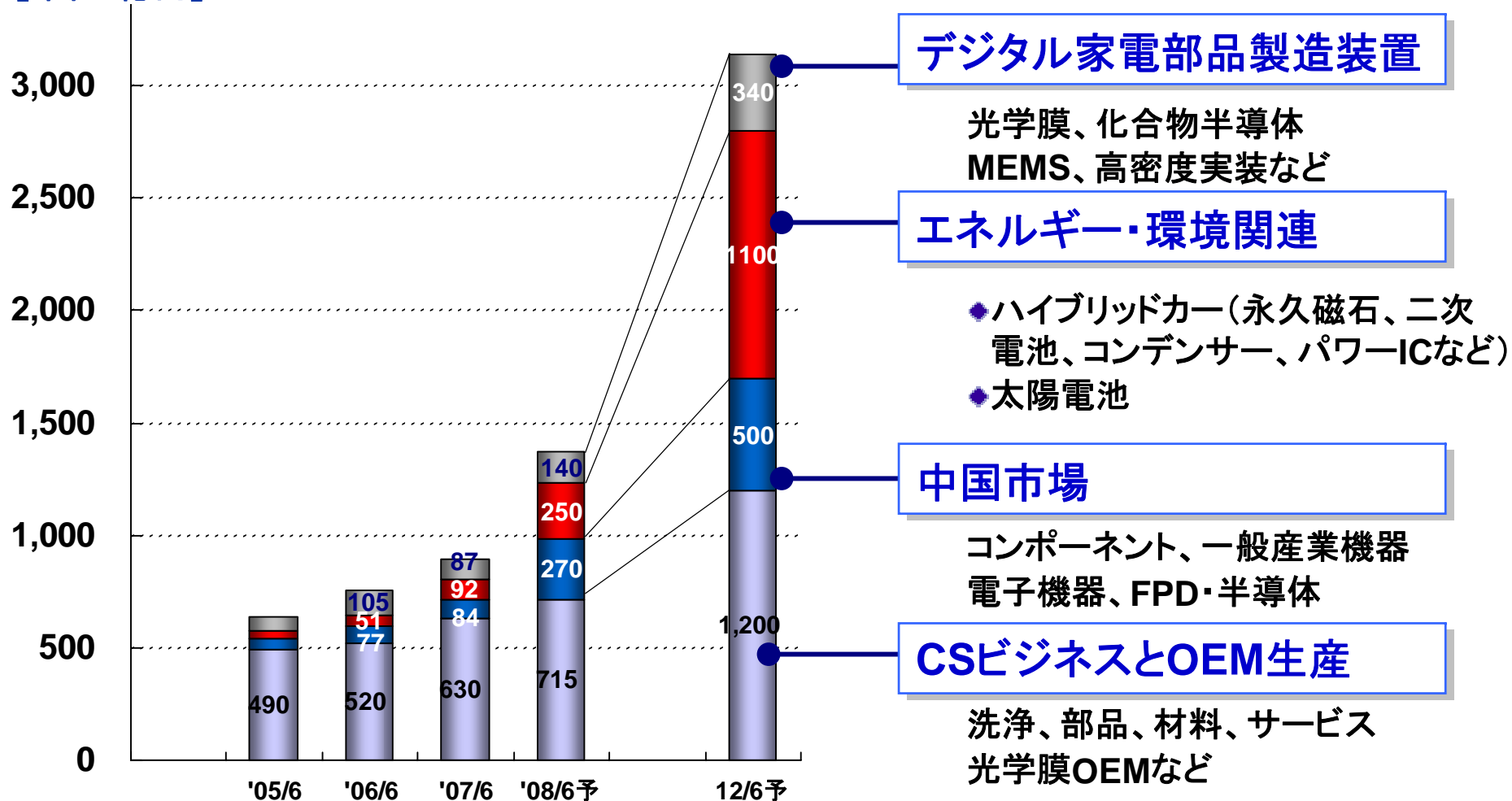
中長期の事業戦略

■ FPDの設備投資の成長は鈍化。ポストFPD戦略を強力に推進し、受注4000億円を目指す。

- ◆ MEMS、化合物半導体などのデジタル家電部品製造装置
- ◆ エネルギー・環境関連装置（ハイブリッドカー・太陽電池）
- ◆ 世界の製造業を牽引する中国
- ◆ 安定経営のためのカスタマーサポート（CS）とOEM生産

ポストFPD戦略(受注目標)

【単位:億円】



【上記の各項目の目標受注額は一部重複して合算されています。また、目標受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

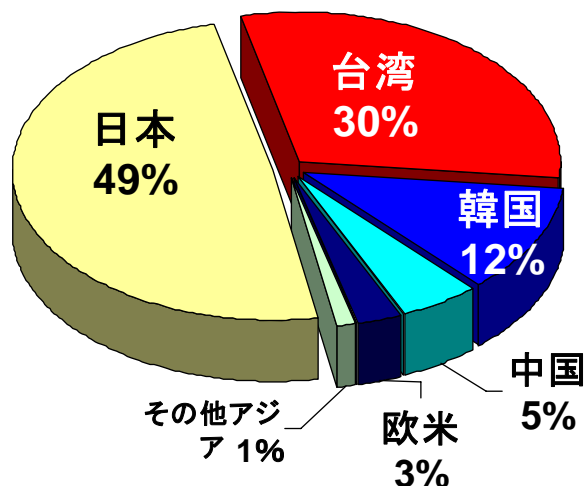
真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

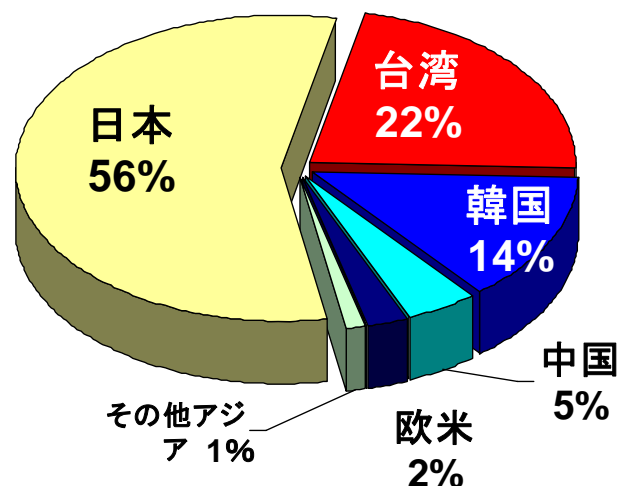
地域別売上高構成比の推移

添付資料

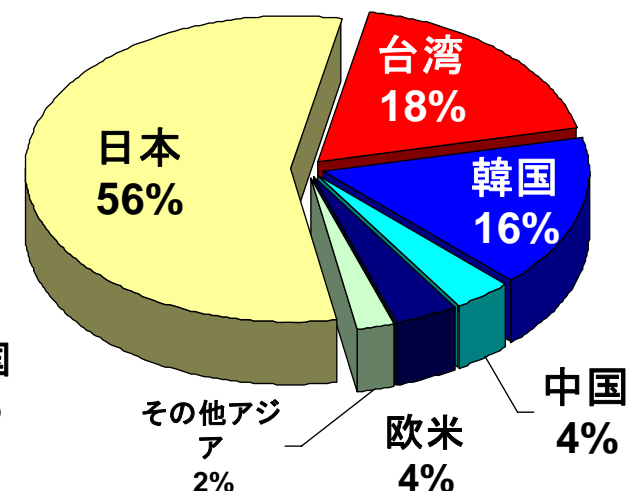
05/6期



06/6期



07/6期



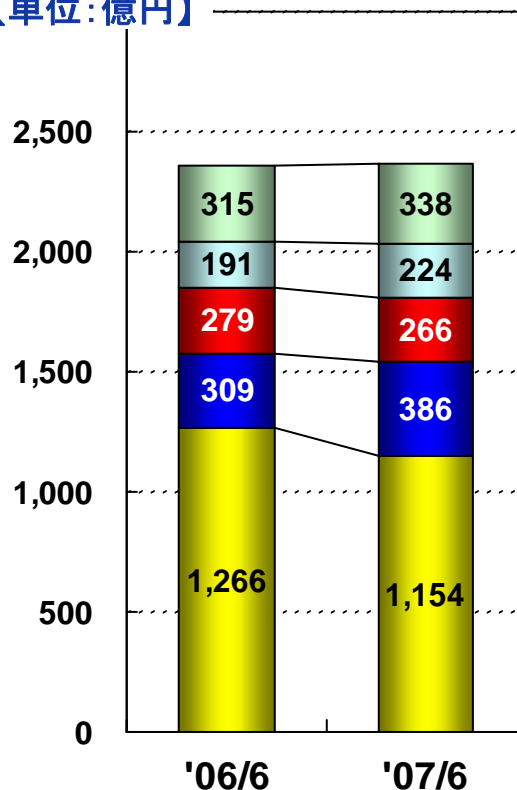
【単位:億円】

	05/6	06/6	07/6
日本	968 (+2%)	1,189 (+23%)	1,334 (+12%)
台湾	597 (+96%)	473 (-21%)	442 (-7%)
韓国	231 (+10%)	292 (+26%)	379 (+30%)
中国	94 (+103%)	96 (+2%)	90 (-7%)
その他アジア	21 (+36%)	26 (+23%)	51 (+95%)
欧米他	57 (+20%)	48 (-16%)	95 (+97%)
合計	1,968 (+25%)	2,125 (+8%)	2,392 (+13%)

【()内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

品目別受注高の実績

【単位:億円】



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

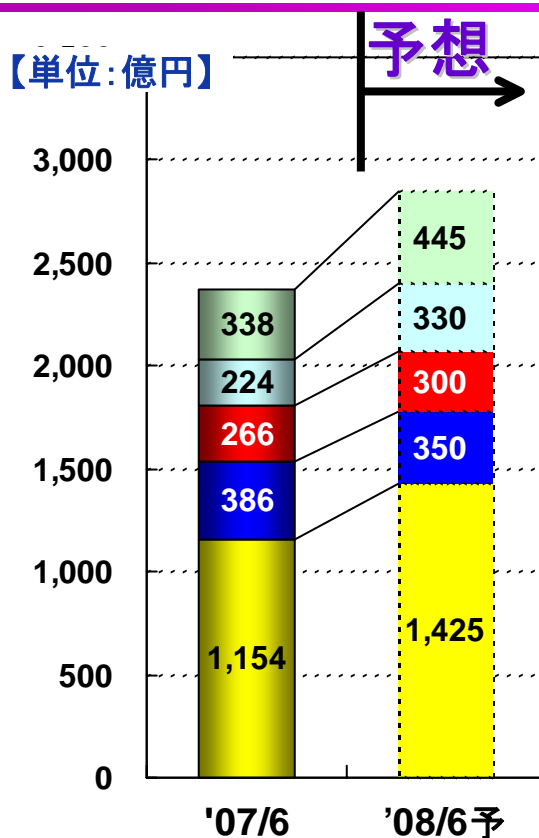
品目	背景
その他の事業	FPDなど生産量増でターゲット材料が伸長。制御システム関連が堅調。
その他	自動車部品関連の設備投資増で真空炉堅調。
コンポーネント	FPD関連設備投資減速でドライポンプが減少。自動車部品、太陽電池関連の設備投資増で真空ポンプが伸長
半導体製造装置	デジタル家電関連の需要増で、フラッシュメモリ、DRAM関連のスパッタ、自然酸化膜除去装置受注増。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶メーカーで生産調整による設備投資計画一部延期。液晶ディスプレイ、プラズマディスプレイで下期減速。次世代ディスプレイも伸び悩む。

【単位:億円】

品目	06/6		07/6		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,266	54%	1,154	49%	-9%
半導体製造装置	309	13%	386	16%	25%
コンポーネント	279	13%	266	11%	-5%
その他	191	8%	224	9%	17%
その他の事業	315	13%	338	14%	7%
合計	2,360	—	2,368	—	

品目別受注高実績・予想

添付資料



注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

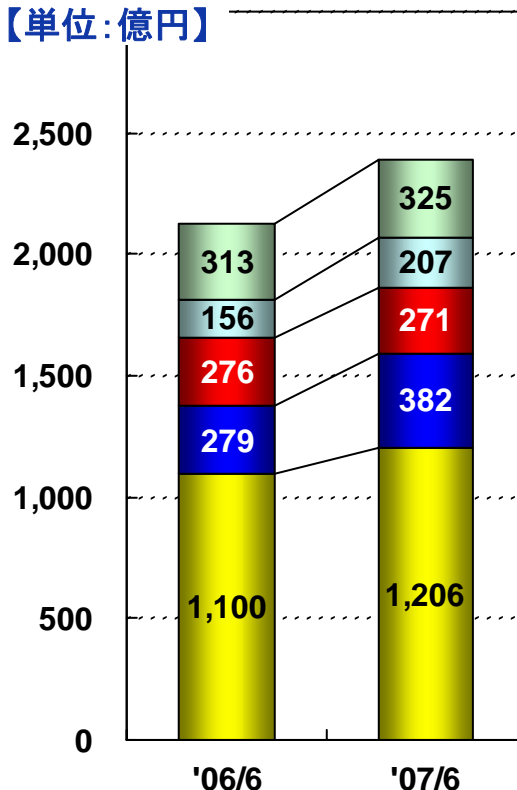
品目	背景
その他の事業	FPDの大型化などでターゲット材料、部品洗浄の増加を見込む。
その他	エネルギー・環境関連やデジタル家電関連の需要増で真空炉、巻取式成膜装置などを見込む。
コンポーネント	FPD関連設備投資再開でドライポンプなどを見込む。エネルギー・環境関連の太陽電池や自動車部品関連で真空ポンプなどを見込む。
半導体製造装置	DRAMなどメモリ関連で一部メーカーの設備投資延期で受注減を見込む。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶メーカーで延期された設備投資が再開。G10など大型化が加速し、液晶ディスプレイの受注増を見込む。次世代ディスプレイ量産ライン投資開始。エネルギー関連の薄膜太陽電池が世界規模で増加。

【単位:億円】

品目	07/6		08/6予		
	受注高	構成比	受注高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,154	49%	1,425	50%	23%
半導体製造装置	386	16%	350	12%	-9%
コンポーネント	266	11%	300	11%	13%
その他	224	9%	330	12%	28%
その他の事業	338	14%	445	16%	32%
合計	2,368	—	2,850	—	20%

品目別売上高の実績

【単位:億円】



注)
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目	背景
その他の事業	ターゲット材料は、FPDなど生産調整により上期伸び悩むが、下期回復し伸長。
その他	自動車部品関連の設備投資増で真空炉など堅調。
コンポーネント	FPD関連設備投資減速でドライポンプが減少。自動車、太陽電池の設備投資増でポンプが伸長。計測器伸長。
半導体製造装置	デジタル家電関連の需要増で、フラッシュメモリ、DRAM関連のスパッタ、自然酸化膜除去装置大幅増。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶メーカーで生産調整による設備投資計画一部延期。次世代ディスプレイ、プラズマディスプレイ伸び悩む。自動車関連の設備投資増でパワーIC増加。

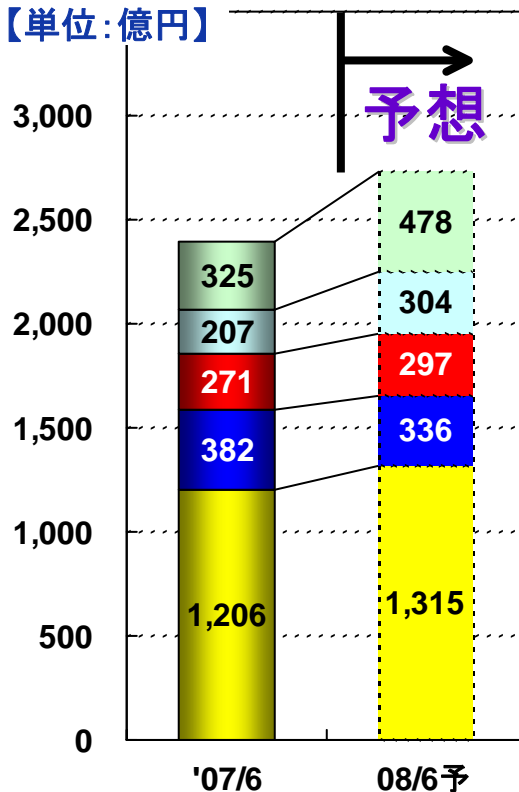
【単位:億円】

品目	06/6		07/6		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業 ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,100	52%	1,206	50%	10%
半導体製造装置	279	13%	382	16%	37%
コンポーネント	276	13%	271	11%	-2%
その他	156	7%	207	9%	32%
その他の事業	313	15%	325	14%	4%
合計	2,125	—	2,392	—	13%

品目別売上高の実績・予想

添付資料

【単位：億円】



注)
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目	背景
その他の事業	FPDの大型化などでターゲット材料、部品洗浄の増加を見込む。
その他	エネルギー・環境関連やデジタル家電関連の需要増で自動車関連の真空炉、巻取式成膜装置などを見込む。
コンポーネント	FPD関連設備投資再開でドライポンプなど増加見込む。エネルギー・環境関連の太陽電池や自動車部品関連で真空ポンプなどを見込む。
半導体製造装置	DRAMなどメモリ関連で一部メーカーの設備投資延期で減速を見込む。パワーデバイス投資が加速。
ディスプレイ及び電子部品製造装置	韓国、台湾の液晶メーカーで延期された設備投資が再開。G7以降の大型が中心。プラズマディスプレイは次世代ディスプレイは一服。太陽電池製造装置の売上増を見込む。

【単位：億円】

品目	07/6		08/6予		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
真空関連事業					
ディスプレイ及び電子部品製造装置	1,206	50%	1,315	48%	9%
半導体製造装置	382	16%	336	12%	-12%
コンポーネント	271	11%	297	11%	10%
その他	207	9%	304	11%	47%
その他の事業	325	14%	478	18%	47%
合計	2,392	—	2,730	—	14%

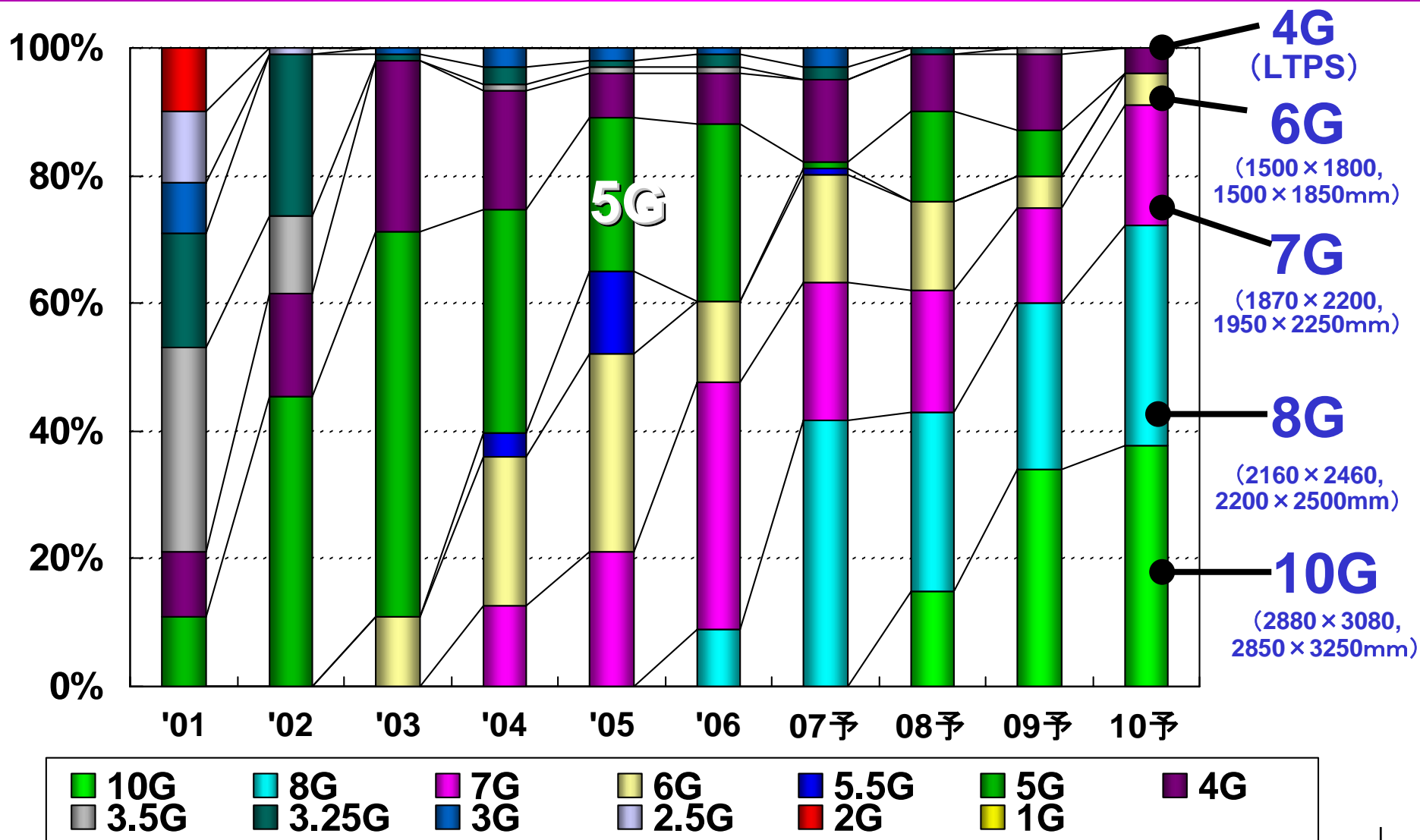
主な研究開発のテーマと成果

添付資料

	主な研究開発のテーマ	主な成果
ディスプレイ 及び電子部品 製造装置	液晶ディスプレイ (TV用大型基板、LTPS) 次世代ディスプレイ (有機EL、PDP、FEDなど) デジタル家電関連 (光学膜、高密度実装など) 太陽電池(薄膜、結晶系など)	①大型基板用液晶ディスプレイ製造装置の開発 (縦型枚葉式スパッタ装置、液晶滴下・真空 貼り合せ装置) ②カラーフィルター用インラインスパッタの開発 ③薄膜太陽電池製造装置の開発 ④Cat-CVD装置の開発 (北陸先端大学との共同開発) ⑤有機EL量産装置の開発
半導体製造装置	不揮発メモリ、メモリ他 パワーIC(極薄ウエーハ) MEMS(微細電子部品)	①多孔質シリカを用いた層間絶縁膜の開発 ②MEMS用PZT圧電素子作製技術の開発 ③高集積PCRAM用成膜技術の開発
コンポーネント	エネルギー・環境、バイオ	①コンパクトプロセスガスモニターの開発 ②分子間相互作用定量QCM装置の開発
その他	エネルギー・環境、 ナノテクノロジー	①アークプラズマガンの開発 ②次世代標準型超高真空スパッタの開発 ③自動車部品用新型スパッタリング装置の開発
その他の事業	新規機能性材料(ナノテクノロ ジー)、分析技術	①新走査型X線光電子分光分析装置の開発 ②ナノ技術によりカラーリングしたルルアー開発

液晶ディスプレイ世代別投資

参考資料



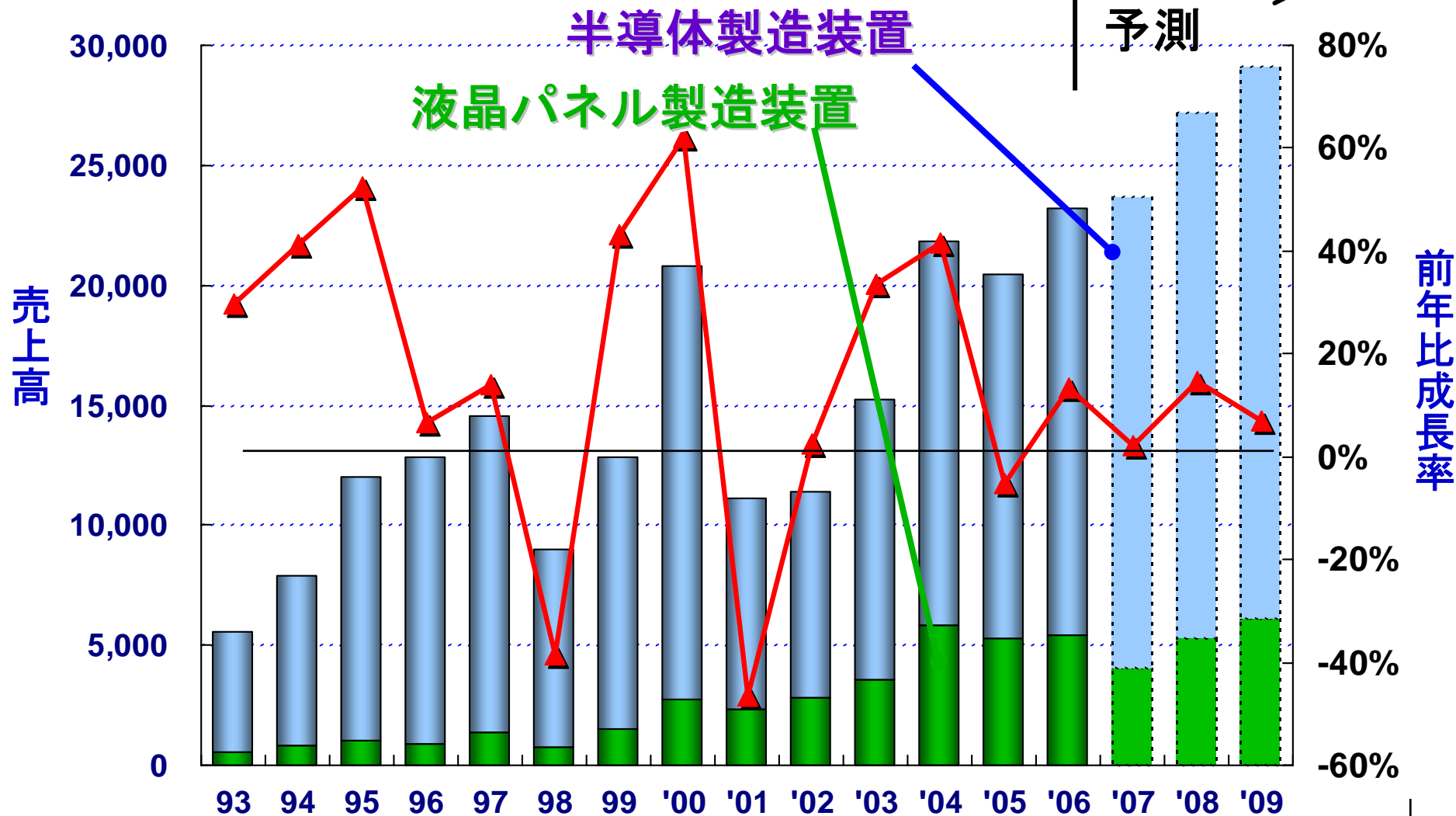
(出所:2007年7月
The 13th DisplaySearch Japan Forum)

半導体および液晶パネル製造装置予測

参考資料

【単位：億円】

＜日本製装置売上高予測＞



(出所:2007年7月 SEAJ)

(売上高: 日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC